

# 平成 28 年度第 1 回吉田町地域公共交通会議 議事録（要旨）

日 時：平成 28 年 10 月 24 日（月） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分

会 場：庁舎 2 階町民ホール

出席者：委員 16 名中 16 名

（事務局：4 名）

## 配布資料

- ・ 「平成 28 年度第 1 回吉田町地域公共交通会議」次第
- ・ 平成 28 年度第 1 回吉田町地域公共交通会議座席表
- ・ 平成 28 年度第 1 回吉田町地域公共交通会議出席者名簿
- ・ 吉田町地域公共交通会議設置要綱
- ・ 吉田町地域公共交通会議委員名簿
- ・ 資料No.1 公共交通に係る現状と課題について（中部運輸支局）
- ・ 資料No.2 公共交通に係る現状と課題について（静岡県地域交通課）
- ・ 資料No.3 公共交通に係る現状と課題について（吉田町）

## 1 開 会 （午後 1 時 30 分）

### 事務局進行

## 2 あいさつ

### 【会長】

- ・ 当町を運行するバス路線は、柵しずてつジャストラインが運行している静岡駅、島田市民病院、藤枝駅行の 3 路線がある。以前は焼津方面へ向かう路線もあった。
- ・ 当町が平成 26 年度に実施した町民意識調査では、公共交通を充実してもらいたいという意見が町民の皆様から多く寄せられている。
- ・ そうした意見を受け、当町では吉田町第 5 次総合計画で「住民の生活を支える生活交通を確保する町」を目標として掲げている。
- ・ 今後、高齢者が増えていく中で、高齢者の足をどう確保していくかという問題が出てくる。また、地域の公共交通の確保と共に、住民の皆さんの足を如何にして確保していくか、ということをも町の課題として考えていかなければならない。

・今後想定される事態に対応するために、皆様から知恵を出していただき、町民の皆様が満足できる公共交通のあり方について、良い案を作りたいと思っている。

### 3 委嘱状交付

町長から委員に委嘱状を交付した。

### 4 趣旨説明

#### 【事務局】

当町はこれまで、吉田町生活交通確保対策委員会を役場の中に設置し、町内を運行するバス路線に関する具体的施策を協議してきた。

これから迎える新たな時代を見据え、当町の実情に即した公共交通の在り方を地域住民や事業者等代表者の方々と共に検討する機会を設けるため、「吉田町公共交通会議」を設置した。本日委嘱させていただいた委員の皆様には、御理解と御協力をいただきたくお願いしたい。

### 5 公共交通に係る現状と課題について

資料

- ・ **資料No.1** 公共交通に係る現状と課題について（中部運輸支局）
- ・ **資料No.2** 公共交通に係る現状と課題について（静岡県地域交通課）
- ・ **資料No.3** 公共交通に係る現状と課題について（吉田町）

### 6 意見交換

#### 【A委員】

静岡方面へ行く路線は多く便利だが、焼津方面へ行く路線がなく、利用が難しい。高齢者の方もある程度の方は、運転免許証を持っているという状況であり、ものすごく不自由はしていないという状況であるが、男性より女性のほうが不便になると考えられる。このような問題の解決方法があれば教えていただきたい。

#### 【B委員】

北区に住んでおり、北区はバス路線が充実していると感じるが、町全体をみると住吉、川尻地区は公共交通環境が充実していない。はあとふるについては、バスを運行しているため、ある程度高齢者の方でも利用しやすくなっている。

### 【C委員】

高校生の通学については、吉田高校と大井川高校が合併し、清流館高校になり、そこに通学するわけだが、バスの本数については、これで十分なのかという心配は一点ある。

また、静岡相良線はバスの本数が多く、通学に非常に便利である。逆に言うと、このような路線が充実したところに進学が限られてしまうという現状があるかもしれない。

### 【D委員】

吉田特別支援学校はバス停が近くにあり、路線バスを利用して登校する生徒が多い。本校の高等部の生徒も御前崎や島田方面から登校している生徒もおり、路線バスを利用している生徒は現在8名いる。

登下校の時間もバスの時刻に合わせているため支障はないが、これから社会に出ていくために、バスや電車を利用する校外学習を計画することもあるが、ちょうどいいバスの時間が無く、結果としてスクールバスを使用することが多くなってしまう。もう少し本数が多くなれば、利用も増えるのではないかと感じる。

### 【E委員】

住吉に住んでいるが、住吉から島田へ通うバスの本数が少ないと感じる。先日、島田へ行く便に乗車したが、島田へは市民病院へ通うお年寄りの方がバスを多く利用していたように見受けられた。行く時は、いい時間帯に便があり、大勢乗客があったが、帰りのバスが1時間に1本しかないので、大勢の乗客が待っていたようだったので、もう少し本数があったらいいなと感じる。

### 【F委員】

当社が現在運行しているバスは幹線系統という、複数市町に跨る路線となっている。バスの運行について路線本数拡充という話も出てきたが、先ほどの説明の中にあるとおり、補助金の増額や乗務員不足等の大きな問題がある。吉田町は各地の結節点の意味合いがあると思っているため、現在、サイクル&バスライドなどもあるが、乗り継ぎ拠点の拡充をすることで利便性が上がるのではないかと感じている。

住吉地区については、自家用有償やデマンド等もあるが、乗務員の拘束時間等でその分経費が上がってしまうなども問題もあるので、そのような観点

からいくとまずは、タクシーの利用や時刻表の全戸配付など、バスの乗り方について理解していただくことで、もっと盛り上げていくことができるのではないかと感じる。

#### 【I 委員】

コミュニティバス等何か試験的に運行して欲しいという意見が地域からよく出ているが、実際に試験的に動いた時、どれだけの利用者があるのか。牧之原市で試験を行ったが、利用者が少なかったため運行中止になった。公共の乗り物として運行するからには地域住民の利用度がなければならない。

バス停が遠くて不便という方は、玄関までお伺いするドアツードアで便利なタクシーの利用も考えていただきたい。また、ユニバーサルデザインの車両も福祉車両と思われる方も多いと思うが、一般の方も利用できる車両である。当社でも10月から導入し、必要な方にはその車両が利用できるようにしたいと考えている。

#### 【J 委員】

吉田町の公共交通に係わる現状を考えると、多くの高齢者が病院、金融機関、スーパーへの移動手段を求めていると考えられる。島田市でコミュニティの認可をいただいて運行しているが、時間の設定が難しく、高齢者からの要求も強いため、行政が引きずられていく現状もある。

また、藤枝市でデマンドを実施したが、予約のキャンセルや依頼者の不在などの問題があった。問題は多いが、住民の要求に応えていかなければならないし、業者としても、協力は惜しまないので、行政も業者も本音で話し合い、良いまちづくりができればいいなと思う。

#### 【K 委員】

吉田町内に関しては、東海タクシー様と島田の平和タクシー様が運行していただいているという中で、この2社の意見を集約した中で、協力を求めていきたいと考えている。

今月10月3日から焼津市の花沢・小浜地域でデマンドタクシーをスタートしたが、3日から本日にかけて運行したのは、3日間である。決してこれがだめだと言っているわけではないが、焼津市の交通課様と数年検討していた中で、今年1年間、試験的に運行してみようということで当社が受け持った。そのエリアは80世帯くらいが居住していて、その中でエントリーをしている人が100名程いる。自主運行バスも走っていないので、高齢者が、

駅に出たいということで、駅までの区間になっているが、どうしても時間予約で受けると、予約あるなしに関わらず運転手は待機しなければならず、本来の仕事が出来なくなるという弊害がある。

今後吉田町でデマンドタクシーを実施する際には、それを考慮しなければならないし、実際あったら便利という声はあっても、蓋を開けてみると動かない日も多いのではないかと思う。そのため、どこへ行くのか、行きたいのが普通のタクシーと違うため、目的地が重要となってくる。

### 【L委員】

先ほど県から説明があったように、輸送量が昭和43年をピークに25%以下に乗合バス事業は落ちている。それは、自家用車の普及と少子化等様々な問題があり、公共交通機関は利便性という点で自家用車には勝てないが、自家用車を運転できなくなる御高齢の方もいる。大都市に比べて地方では駐車場さえあれば、一度車を買ってしまえば、便利に使うという時代なので、その辺をどのように改善していくかが必要である。今後、公共交通会議で検討していく中で、どのような交通手段が一番いいか、色々意見を出し合えばいいと思う。

町として住民が誰もが利用しやすいような交通システムをつくるのが、公共交通機関の利用を支援する一つの方法になると思う。長い期間になるかもしれないが、今後、吉田町に必要な案を検討し、実りある会議にしていきたい。

### 【M委員】

私は、主に安全教育と交通規制を担当しており、今回課長の代理ということもあり、私の個人的な意見ということでお願いしたいが、吉田町では最近、大きな道路が増えたことですごく便利になってきたと感じる。去年は、高齢者の事故が県下でワースト1という話をさせていただいていたが、今年も高齢者事故も減っており、死亡事故も先日22日で700日達成している。

ただ、大きな道路ができたということで、大型の店舗が多く進出してきており、車がないと行けないお店も増えてきているので、大型のショッピングモールにもタクシーやバスが停まるようになれば、車の台数を減らすことが出来るのではないかという個人的な意見もある。

また、免許証の関係の窓口にいると、80代、90代の方も沢山来られる。警察署でも段階的な自粛をお願いしているが、歩くのは不自由だが、車なら運転できるということで、なかなか免許証の返還をする方がいない。御家族

の方からも免許証の返還を助言していただくことで、高齢者の交通事故の予防やバスやタクシー等の公共交通機関の利用者増加につながるのではないかと考えるため、御協力をお願いしたい。

### 【N委員】

私からは、乗務員の関係になるが、当社でも乗務員がかなり不足しているが、バス業界では全国的に乗務員不足が非常に問題となっている。運転手のなり手がいないのが現状であり、不規則な長時間労働の中で、当社も若手の担い手を確保するために、様々な施策をとりながら、乗務員の確保に努めている状況である。

バスの本数を増やしてほしい等の声を聞くが、バスが走っていて当たり前という観点ではなくて、それを動かしているという人間も緊迫している現状があるということ、頭に入れておいていただきながら、今後公共交通会議の中で協議をしていただきたい。

### 【会長】

よく議員の皆様からコミュニティバスを走らせてほしいという声がある。私の答えは、「基本的にはできません」と話している。走らせてほしいという意見はたくさんあるが、走らせても結局乗らない。個人の都合のいい時間帯とのミスマッチがどうしてもあるため、非常に難しい問題であるし、実施した場合、大きな赤字になると想定される。

しかしながら、住民の皆様から、なんとかして生活の足を確保してもらいたいという要望もあるので、今話題になっている自動運転の車両であるとか、そのような方向も掲げながら、今後色々と御意見賜りたいと思う。

また、今後公共交通がどのようになってくるか、需要と供給、提供する側の利益の問題等どこで折り合いを付けるかという問題もあると思うので、それも踏まえて、今後地域住民の足の確保を実現していくために御意見を賜りたいと思う。

**7 閉 会** (午後 3 時 00 分)